

～ ここにも活かせるエルメス技術 ～

E - 1



供用中の道路面の二次元変位を、 ノンプリズム式トータルステーションでモニタリング

Electronic Measurement

山岳トンネル / 地下構造	シールドトンネル	地盤 / 山留め	基礎 / ケーソン
近接施工	斜面防災	コンクリート構造	ダム・メンテナンス
鉄道関連	道路関連	橋梁関連	エネルギー関連

概要

供用中の道路の下に新たに道路や別途構造物を造る場合、供用中の道路に対して種々の対策が講じられます。その対策の一つとして計測管理があります。本システムは、供用中の道路面にセンサーを設置することなく、道路面の変位を常時監視することができます。

特徴

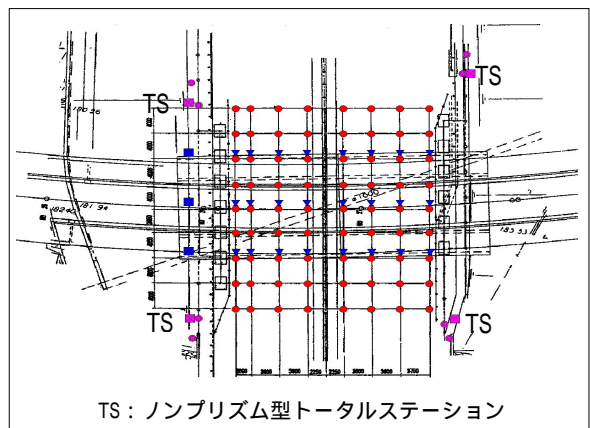
想定される影響範囲にメッシュ形の測定点を設定でき、全体的な路面の変位状況を把握できます。気象条件にもよりますが、予測精度は±3.0～5.0mm程度です。測点は白いペンキでマーキングするだけです。

構成

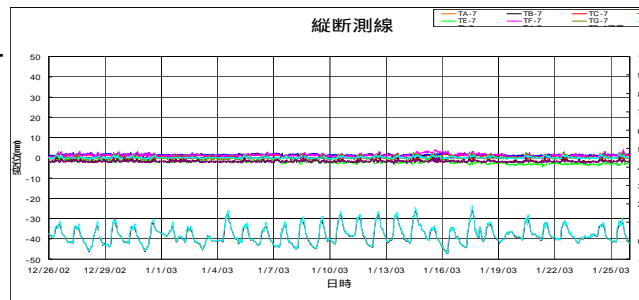
- TS (ノンプリズムモータ駆動トータルステーション) 1台
(ライカ製TCRA1103使用)
- データ変換器 1台
- パソコン (データ収集用) 1台

仕様

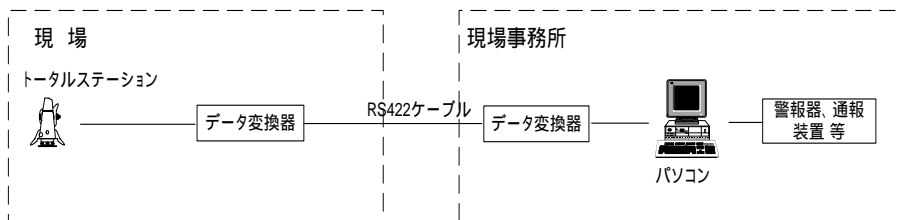
- 精度 測距 ノンプリズム・・・3mm+2ppm
- 測角 3"
- 測定最大距離 ノンプリズム・・・80m
- 測定時間 ノンプリズム・・・2.5秒以下
- 予測精度 上記のとおり(50m先地点で)です。
- AC電源装置 AC100Vを12Vに変換し、トータルステーションに電源を供給します。
- 気象補正装置 測距値に対し、気温・気圧データ取り込み補正します。
- 反射プリズム 反射プリズムの併用も可能です。



TS: ノンプリズム型トータルステーション



システムの一例



お問い合わせ



東横エルメス

ISO9001

営業部 (03) 3256-7788 (代) 鈴木、西尾

計測技術部 (03) 3256-7788 (代) 炭谷、藤田